４　施策展開の体系図

基本目標

豊かな循環が育む水と緑のふるさと・信州

～信州から発信する低炭素型の地域づくり～

地球環境の保全

- １．地球温暖化対策
  - 県民、事業者、行政が連携して行う温室効果ガスの排出削減
  - ○家庭における温暖化対策の推進
  - ○自動車からの排出削減対策の推進
  - ○環境負荷の少ない産業の構築
  - ○県による温暖化対策の率先実行・市町村との連携
  - ○森林整備による二酸化炭素吸収源対策の推進
  - ○再生可能エネルギーの導入促進
  - ○温暖化の影響と適応策に関する調査研究
- ２．オゾン層保護・酸性雨対策
  - フロン類の適正な回収と酸性雨の継続的な状況の把握
  - ○オゾン層保護対策の推進　○酸性雨対策

～安全･安心な生活環境の保全～

生活環境の保全

- １．水環境の保全
  - 多くの河川の源流域としての健全な水循環の確保、清らかな水質の保全、水文化の継承
  - ○健全な水循環の確保　○水質の保全
  - ○水文化の継承と発展　○生活排水対策の推進
- ２．大気環境等の保全
  - 光化学オキシダント対策など良好な大気環境等の保全
  - ○大気環境の保全　○騒音・振動・悪臭等の防止
  - ○アスベスト対策
- ３．有害化学物質等による環境リスクの低減
  - 生態系に有害な影響を及ぼす化学物質の実態把握や適正な管理、環境への排出抑制
  - ○ダイオキシン類対策　○化学物質対策
- ４．公害防止体制の整備
  - 特定工場等における公害防止組織の整備や、公害苦情・紛争への適切な対応
  - ○公害防止組織の整備　○公害苦情・紛争の適正処理
- ５．質の高い生活環境づくり
  - 人の感覚にとって快い環境、美しい景観、都市の緑化等、快適な生活環境の創造
  - ○感覚環境のまちづくり　○景観育成の推進
  - ○みどり豊かな地域・まちづくり

～豊かな自然から学び、自然と共生する社会づくり～

自然環境の保全

- １．多様な自然環境の保全
  - 希少野生動植物の保護など美しい自然環境や豊かな生態系の保全
  - ○生物多様性の確保
  - ○地域特性に応じた自然環境の保護・保全
- ２．自然との豊かなふれあいの確保
  - 自然とふれあう機会の充実や施設整備、人材の育成
  - ○自然との豊かなふれあいの確保　○自然公園施設等の整備
- ３．森林や農山村の多面的機能の発揮による里地・里山の保全
  - 森林づくりや農山村の活性化、野生鳥獣対策等による里地・里山の保全
  - ○多面的機能を発揮する森林づくり
  - ○農山村の多面的機能の維持・発揮
  - ○野生鳥獣被害対策

～廃棄物の発生抑制･資源循環等による環境負荷の最小化～

資源循環型社会の構築

- １．廃棄物の発生抑制、再資源化の推進
  - ３Ｒ理念の浸透、廃棄物の発生抑制、リサイクル促進
  - ○廃棄物の発生抑制の推進　○資源の循環利用の推進
- ２．廃棄物の適正処理の確保
  - 排出事業者や処理業者への啓発・監視指導、不適正処理への厳正な対応
  - ○廃棄物の適正処理の推進　○監視・指導体制の強化

～パートナーシップの確立と環境を軸とした経済･地域の活性化～

参加と連携

- １．県民総参加による環境保全活動の推進
  - 幅広い県民が参加した環境保全活動や環境学習の推進
  - ○あらゆる年齢層に応じた環境教育・環境学習の推進
  - ○県民総参加による環境保全活動の推進
  - ○県による率先実行
- ２．環境と経済の好循環の創出
  - 産業における環境配慮の推進、環境に関する新たなビジネスの創出
  - ○各産業分野における環境への負荷削減対策
  - ○環境を通じた経済・地域の活性化

共通の基盤的施策

- １．環境影響評価の推進
- ２．環境保全に関する調査研究の推進